



二つの川が出合うと、どんなことが起こるの

川の水のはたらき

川は地表をけずり、けずりとった土砂を運び、運んだ土砂を積もさせます。そして、たえず地形を変化させています。

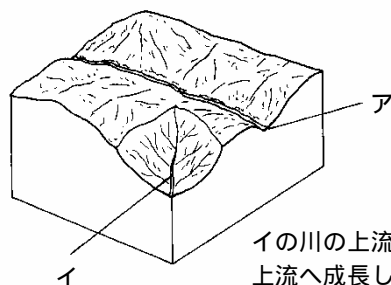
川の上流は流れが速く、川底や川岸の岩石を、さかんにけずっています。これをしん食作用といいます。川が土砂などを運ぶはたらきを、運ぱん作用といいます。運ぱんしたものを積もらせるはたらきを、たい積作用といいます。上流では、しん食作用と運ぱん作用がさかんです。

一つの川の流れが変わる

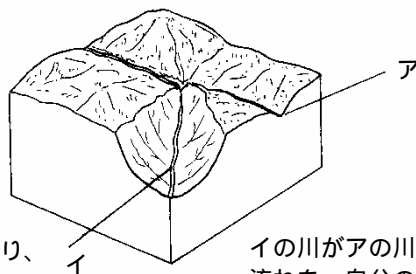
二つの川が出合って、一つの川になることを合流といいます。合流地点では、流れの向きや速さが変わったりするので、広い川原ができることがあります。

二つの川が流れているときに、一つの川が成長して、上流の方へのびていくと、もう一つの川にぶつかります。すると、合流した川は、そこから上流の部分を、勢いのいい川にとられてしまいます。

このように、しん食作用の強い川が、しん食作用の弱い川の上流を、うばってしまうのです。上流をとられた川は、水の量が減ってしまい、今まで流れていた広い谷底を、小川が流れるようになってしまいます。（監修・国司 真）



アの川の上流は、谷が深くなり、上流へ成長していく。



アの川がアの川に出合うと、アの川の流れを、自分のほうに変えてしまう。

